

崇徳会研究・研修センター便り 第 11 号 「院内発表大会QC部門に参加して」
第7病棟（介護医療院） 昭和ガールサークル

私達は介護福祉士 3 名で構成されたQCサークル「昭和ガール」です。2025 年度田宮病院院内発表大会QC部門に参加『オムツ交換の失禁による負担軽減を目指して～失禁を削減しよう～』というテーマに取り組んだ活動内容を発表し最優秀賞をいただくことができました。

田宮病院のQCサークル活動は、医療の質の向上や医療安全・サービス改善を目的として部署ごとに改善活動に取り組んでいます。43年間継続されている歴史ある改善活動です。

【私達の取り組み】

7 病棟では医療と介護両方を必要とする利用者(要介護高齢者)の日常生活介護を行っています。まず、マトリックス図を用いて業務の負担感や緊急性を評価した結果、サービス向上と職場の負担感の双方に直結する『オムツ交換の失禁対策』を改善テーマとして設定しました。取り組みにあたり病棟スタッフにアンケート調査を実施したところ、介護福祉士100%、看護師の91%がオムツ交換業務に困りごとを抱えており、オムツの当て方の不統一や失禁に対する不安が大きいことがわかりました。さらに15日間の実態調査をおこなったところ3,446回のオムツ交換のうち、パッドのズレや折れによる失禁が520件（約15%）発生しており453枚ものオムツが無駄に交換されている実態が浮き彫りになりました。特性要因図を用いて要因分析をおこなった結果、真因は「利用者全員がオムツを使用しており、常に失禁リスクが高い環境にあること」と「手技や意識の不統一」にあると特定しました。そこで「調査時の失禁件数520件を2026年1月末までに70%減少させる」という目標を設定しました。対策として全利用者のオムツサイズを見直して「オムツ一覧表」を作成・掲示するとともに、全スタッフ対象の「オムツの当て方勉強会」を開催しました。オムツ台車に当て方のポイントや写真を掲示し誰もが正しい手技で実践できる環境を整えました。その結果、失禁件数は520件から98件へと減少、目標を上回る78%の減少を達成しました。経済的にも15日間で20,827円（年間換算約50万円）のコスト削減となり、洗濯コストや介護の手間の軽減、スタッフの不安解消にもつながりました。

2026年12月に島根県で開催される医療のTQM推進協議会、第27回フォーラム「医療の改善活動」に参加し、この度取り組んだQCサークル活動を発表する機会をいただきました。より良い発表ができるよう頑張ります。